



明星寺地区の 自然環境と生活を 守れ

住民の願いをこめた県知事宛の署名は、
廃棄物対策課長が預かりました（県庁）

2万4700人分を提出

川上なおきがレポート

日本共産党前市議

明星寺地区の採石場拡張と産廃施設に反対する署名が3月23日、
県知事に提出されました。飯塚市自治会連合会と鎮西地区自治会長
会の呼びかけで、昨年からとりくまれ、署名総数は2万4700人に達
しました。参加した川上なおきが、レポートをします。



写真左は署名を前に要請
にこたえる工業保安課。下
は、県庁で記者会見をする
自治会長のみなさん。



× 採石場拡張 産廃施設

違法くり返す業者はダメ



地元から15人参加
県議3人が同行

署名提出には、鎮西地区
自治会長会の今増広人会
長のほか、潤野上区、明星
寺、明星寺団地の各自治会
のみなさん15人が県庁
に向かい、江藤秀之、吉村
敏男、吉柳順一の3県議が

同行しました。

最初の訪問先は県議会。

議長が不在のため議会事務
局が対応し、議長に「しっか
り伝える」との回答があり
ました。

としてきちんと対応する」
と答えました。

続いて産廃施設担当の
廃棄物対策課です。2万4
700の署名を古賀課長
が受け取りました。

いよいよ知事部局です。
採石業の担当は工業保安
課。風呂敷に包まれた署名
を前に、上鶴課長が、「行政

拡張申請を受理
事態は大きく緊迫
その後、工業保安課は署

名提出の前日に新進工業
の拡張申請を、正式に受理
していたことがわかりま
した。また、産廃施設でも、
地域指定に関する市長意
見書の提出を催促した気
配もあります。市議会が任
期切れとなった中で、事態
は大きく緊迫しています。

日本共産党

飯塚民報 2011年3月号外

福祉と防災のまちづくりを

日本共産党嘉飯地区委員会 電話22-6783